

本気で挑戦！ 日本一の市役所へ

池田市長揮毫

都城市役所では、市民の幸福増進と市政の発展のため「都城フィロソフィ」を策定しました。
今回は、その内容を紹介します。 ◎問い合わせ 職員課フィロソフィ推進室 ☎23-2119



フィロソフィとは

フィロソフィは、京セラ株式会社
の稲盛和夫名誉会長が提唱した人生
哲学であり、幸せな人生を送り、仕
事で結果を出すための指針です。同
社グループを始め、多くの企業で、
このフィロソフィをベースに経営が
行われています。

都城市では、これまでも自治体経
営の考え方の下、ふるさと納税や中
心市街地の活性化など、さまざまな
政策にチャレンジし、結果を出して
きました。そして今回、さらなる市
民の幸福と市の発展のため、京セラ
コミュニケーションシステム株式会
社の協力を得て、行政機関として初
となる「都城フィロソフィ」を策定
しました。

人生・仕事の結果

＝



考え方

×



熱意

×



能力

一人ひとりが都城市役所

素晴らしい都城市とするために



池田 宜永 市長

目からなる都城市職員としての心構えを表したのですが、その内容は、私が市長就任以来言い続けている「あいさつが全ての基本」など当たり前のことから、「コンセプトを立て、戦略的に行動し、結果を出す」といった自治体らしからぬことまで多岐に亘っています。

また、都城市と京セラコミュニケーションシステム株式会社は、人材育成や地域企業の活性化などを目的に、7月1日、包括連携協定を締結しました。

今後、より「素晴らしい都城市」としていくために、私を含めた全ての職員が、都城フィロソフィを積極的に学び心に留め、日本一の市役所を目指して全職員一丸となつてがんばってまいります。

自治体経営においては、「ヒト(人材)市役所職員」が成長すれば、ヒトが構成するモノ(組織)市役所も成長し、そこから生み出される政策(カネ)も素晴らしいものとなり、その結果、市民の幸福と市の発展につながる」という考え方であるので、都城フィロソフィが、いかに重要な位置付けであるかご理解いただけると思います。

この都城フィロソフィは、全30項

ぜひ、市民の皆様も都城フィロソフィをご一読いただき、私たち都城市職員の取り組みに対し、より一層のご理解をいただければ幸いです。



行政機関では全国初

人材育成による組織の活性化を期待します



京セラコミュニケーションシステム(株)
代表取締役社長
黒瀬 善仁 さん

力を発揮することができます。そのためには、ベースとなる考え方を明文化し、一人一人がそれを意識することが重要です。それが都城フィロソフィの意味だと思っています。

この度、当社は都城市様と包括連携協定を結ばせていただきました。都城市様にご支援できる機会を賜り感謝しております。人材育成の支援やアメンバー経営コンサルティング、また、システム開発・セキュリティ・IoTネットワークなどのICT事業、通信および環境エネルギーのエンジニアリング事業など、当社の持つ技術やノウハウを通じて、都城市の皆様のご幸福と市の発展に少しでもお役に立てればと考えています。

私ども京セラグループの会長である稲盛和夫は、仕事をやる上で「ベクトルを合わせる事が大切」と言います。ベクトルとは大きさだけでなく方向を合わせた量のことです。一人一人が強くて方向性がバラバラだと大きな力にはなりません。皆の方向性がそろうことで大きく強い



7月1日、京セラコミュニケーションシステム(株)と包括連携協定を締結

都城フィロソフィ

第1部 素晴らしい人生を送るために

- 第1章 成功方程式(人生・仕事の方程式) _____
人生・仕事の結果=考え方×熱意×能力
- 第2章 正しい考え方を持つ _____
あいさつが全ての基本
身だしなみは人のため
明るく元気に、素直な心で前向きに
感謝の気持ちを忘れず、謙虚に生きる
物事をシンプルに捉える
損得ではなく善悪で判断し、人間として正しいことを貫く
- 第3章 熱意を持って、地道に努力を続ける _____
自ら燃える
地道に努力を積み重ね、真面目に一生懸命仕事に打ち込む

第2部 素晴らしい都城市とするために

- 第1章 一人ひとりが都城市役所 _____
一人ひとりが都城市役所
地域を愛し、地域と共に生きる
都城が持っているものを生かす
市民目線を貫く
傾聴と共感が改善を生む
自分の仕事ではないと言わない
率先垂範する
- 第2章 全員の心を一つにする _____
本音でぶつかる
ベクトルを合わせ、チームで取り組む
笑顔で仕事に取り組む
- 第3章 燃える集団となる _____
高い目標を持つ
有言実行でことに当たる
本気で挑戦する
成し遂げるまで諦めない
今できることは今やる
スピード感を持って決断し、行動する
大局観を磨く
よく働き、よく遊ぶ
- 第4章 結果にこだわる _____
自治体の常識・殻を打ち破る
楽観的に構想し、悲観的に計画し、楽観的に実行する
コンセプトを立て、戦略的に行動し、結果を出す

都城ファイロソフィの一部を紹介します

あいさつが全ての基本

あいさつが全ての基本です。あいさつは、社会生活を営む上で欠かせないものです。したがって、簡単なあいさつすらきちんとできない人が、難しい仕事をするなどできません。

どんなときでも、相手より早く、自ら笑顔であいさつする姿勢を持ち続けることが重要です。

あいさつによって、する側もされる側も、気持ちよく一日を過ごすことができます。職場においても、あいさつをきっかけとした会話で、さまざまな情報や仕事のヒントを得ることができます。

あいさつは、より良い人間関係を築く第一歩です。職場環境を良くし、職員の資質をより一層高めるためにも、あいさつに心を込めることが大切です。

自ら燃える

物質には、自燃性・可燃性・不燃性のものがあるように、人間のタイプにも、熱意と情熱を持って自ら燃え上がる自燃性の人間、自燃性の人間が近くにいると燃える可燃性の人間、自燃性の人間が近くにいると燃えない不燃性の人間がいます。

私たちが目指すのはもちろん自燃性の人間です。熱意と情熱、そして強い意志を持ち、自ら考え積極的に行動する自燃性の人間になることで、周りの人を巻き込み、組織としても大きな力を発揮することができるようになります。

自ら燃えるためには、自分の仕事や人生を好きになるとともに、大きな夢や明確な目標を持つことが必要です。



自治体の常識・殻を打ち破る

自治体は、前例を踏襲しがちですが、時勢が目まぐるしく変わる現在、既存の考え方に捕らわれてしまっただけでは、市民が本当に必要なサービスを提供することはできません。また、新たな課題に柔軟に対応することもできません。

自治体だからこうあるべきという固定観念に捕らわれず、自由で前向きな発想で、市民のために何が最良であるかを判断し、果敢に実行していくことが、「日本一の市役所」を目指すための土台となります。

自治体の常識・殻を打ち破ることは、自分の成長にもつながります。常に、都城市、そして自分の持つ無限の可能性を信じ、勇気を持って挑戦する姿勢こそが、素晴らしい成長をもたらします。

コンセプトを立て、戦略的に行動し、結果を出す

自治体の仕事は、数値で評価されるものばかりではありません。そのため、仕事に結果を求めない風土もあります。

しかし、都城市においては、「自治体も経営する時代」との考えに基づき、経営資源(ヒト・モノ・カネ)を有効に活用し、市民の幸福と市の発展を実現しようとしています。

そのため、全ての施策に目標を設定し、その目標を達成するためのコンセプトを明確にし、コンセプトに沿った適切な戦略を練って、施策を推進しています。

このことにより、成功が得られ、より良い都城市が創られていきます。



フィロソフィ推進担当

一人一人がフィロソフィを心に留める

都城ファイロソフィの浸透を図るため、全職員にフィロソフィの全てが書かれた手帳を配付しました。職員がフィロソフィ手帳を常に携帯することで、フィロソフィを身近で当たり前の指針として日常的に実践するよう努めていきます。

都城ファイロソフィについて詳しくは、市ホームページでも紹介しています。

